



PRESS RELEASE

2024年7月吉日
株式会社 印傳屋上原勇七

印傳屋の芸術文化振興活動「印傳博物館」が メセナ活動認定制度「This is MECENAT 2024」に認定されました

株式会社印傳屋上原勇七（代表取締役社長：上原勇七）は、1582年の創業以来「甲州印伝」の担い手として“鹿革と漆”の伝統を守り、先人の技を磨き続け、その時代の人々に求められる製品づくりに挑み続けています。また、『人間尊重』を基本とし人と環境、そして社会へ貢献する企業理念のもと、400年の歴史をさらに未来につなげるよう印傳博物館の活動を通じて、日本の鹿革工芸品の文化を後世に伝え、地域の文化的な発展に努めています。

このたび、公益社団法人企業メセナ協議会（以下「企業メセナ協議会」）が実施するメセナ活動認定制度「This is MECENAT 2024」において、印傳博物館の運営が、芸術文化振興活動（工芸／ファッション／ものづくり）が優良なメセナ活動として認定されました。



■企業メセナ協議会「This is MECENAT」について

「This is MECENAT」は、企業などが取り組むメセナ（芸術文化振興による豊かな社会創造）活動を有識者の審査により認定する制度です。全国各地で多様に展開されている企業メセナの社会的意義を示すことを目的として、2014年にスタートしました。多彩なメセナ活動を認定し、各活動に光をあてることにより、芸術文化による豊かな社会づくりを推進していくことを目的とした制度です。

企業メセナ協議会（公式サイト）：<https://mecenat-mark.org/>

「This is MECENAT」認定内容

印傳博物館の運営の重点テーマ

鹿革工芸品である印傳を展示や映像等を通してその技法を後世に伝えます。
地域の産業としてその技術を継承し、新しい感性や時代のニーズに合ったものを生み出していくことを大切にしています。



■印傳博物館とは

印傳博物館は、1999年に印傳屋本店2階に併設された、伝統的工芸品「甲州印伝」の企業博物館です。印伝の作品や鹿革工芸品・道具などを収集し、技法や模様・鹿革の多様な用途の資料を特集した展示を行っています。鹿革工芸品の文化を後世に伝えるという先代の想いを受け継ぎ、伝統工芸技術をはじめ民俗文化財の保存や活用の在り方・文化観光や地域とのつながり・伝統産業の教育普及などを社会動向に合わせて発信していきたいと考えます。